



スコットランドの風



第4回『日本スコットランド交流協会』総会開催

2016年5月20日、英国大使館にて第4回NPO法人日本スコットランド交流協会総会が定款第27条の定める要件を満たし開催されました。

(会員数249人に対して出席者55人、委任状90人、計145人)

冒頭、片桐宏典新会長から役員体制が変更されたこと、また本年度からの実施を目指すスコットランドと日本を繋げるイベント「Scotland DAY in Tokyo 2016」に関しての話がありました。続いて、議長の山口謙治氏によって議事進行が行われ、27年度の事業報告及び活動計算書(2015.4.1-2016.3.31)、監査報告、定款の変更が満場一致で承認されました。その後新体制となる役員紹介も行われました。理事は片桐宏典(会長)、小林正典(副会長)、齊藤七生(副会長)、香取薫、片桐キャサリン JohnRaymond Bremner.OBE.、上門周二、畠中康仁飯村英人、監事は荒井健太郎、石川晃士。

また昨年に引き続いて参議院議員古川俊治先生からの祝電報告がございました。その後引き続き開催された懇親会では、総勢約90人以上の方々に参加頂き、元理事の山形氏のバグパイプの曲を合図に会が始まりました。開会の言葉をスターリング大学開発渉外部局長Kerry Bryson氏より頂き、今年に2月に行われたJapaneseWeekにおけるJSAの後援への謝辞、及び今後に向けたさらなる連携強化の必要性に関する力強いお言葉を頂きました。乾杯の音頭をスターリング大学戦略的計画及び提携推進局長 Colin Campbell氏より頂きました。乾杯の後、歓談中に目覚ましい活躍をされているJSA会員の紹介がございました。



Kerry Bryson氏



Colin Campbell氏



種子田武隆氏

宮地譲氏

種子田敦子氏



Dr. Stephen Baker氏

初めに、The World's Original Marmalade Awards (世界オリジナルマーマレード賞)で金賞の原啓氏、銀賞の村松陽子氏の御両名の紹介がありました。また原様からそのマーマレードを懇親会へ提供頂きました。次にカーリング日本代表キャプテンの両角友佑氏とそのコーチである長岡はと美氏です。今年4月の世界選手権では惜しくも男子史上初のメダルを逃しましたが、2018年平昌冬季五輪に向けて抱負を語って頂きました。引き続き、オルガニストの児玉麻里氏が主催する第26回国際ショナルオルガンフェスティバルINJAPANのご紹介、イギリス発祥のスポーツであるローンボールズの普及に貢献されている細野長穂氏が紹介されました。また会の途中に、スコットランド国際開発庁日本代表でJSA名誉大使であるStephen Baker氏の挨拶、種子田敦子氏(ヴァイオリン)、種子田武隆氏(フルート)、宮地譲氏(チェロ)らによるフィドル演奏がありその生演奏に会場も大いに盛り上がりました。閉会の言葉に先立ちまして、中部本部が新設されるに際して支部長のGerry McLellan氏から挨拶がございました。最後に、JSAの設立、発展に尽力されました関妙子前会長より挨拶を頂き、片桐会長からはこれまでの関会長のご尽力に対する感謝の言葉及びこれからの新しいJSAへの抱負を語られました。これまで築かれた会の意志を引き継ぎ新しいステージを感じさせる懇親会になりました。

Scotland DAY in Tokyo 2016 開催決定 スコットランドが面白い

現代スコットランドの脈動を伝えるJSA新企画として、11月26日東京芸術劇場にて「Scotland DAY in Tokyo 2016」がスタートします。今年は、基調講演として竹鶴孝太郎氏(ニッカウキスキー)、Japan Weekでも大好評の清水健氏(イギリスBBC)、スコットランド留学フェア、様々な分野の専門家がプレゼンテーションする「ペチャクチャナイト」(*1)、そして夜は食事、ウイスキーテイastingと音楽、Edinburghから講師としてDavid Vivanco氏を迎え、楽しくケイリーダンスを行います。どうぞ、乞うご期待下さい。*1 ペチャクチャナイトとは1人20枚のスライドを20秒間ずつプレゼンテーションするイベントです。



竹鶴 孝太郎氏



清水 健氏

*1 ペチャクチャナイトとは1人20枚のスライドを20秒間ずつプレゼンテーションするイベントです

会長挨拶

会長 片桐 宏典



JSAは設立から4年、全国的な組織で会員数を増やし足早に大きく躍進してきましたが、昨今、会費誤請求問題の頻発など会員の皆様に大変なご迷惑をおかけする事態が発生したため、新執行部は事務局機能の再編と強化にとりかかり現在までに会員情報を新システムに管理移行、ホームページの全面的リニューアル、経理事務体制の確立などを多くの方々の御協力で完了しつつあります。将来に向けた確たる基盤の上で、より活発な交流事業と会員の皆様の多彩な活動を確実に支えていきたいと思ひます。

8月4日には、駐日英国大使館大使公邸で Julia Longbottom 公使の送別会が開催されました。これまで多面的にJSAに協力いただいた彼女が日本を去るのはとても残念ですが、次の任地での活躍をお祈りしたいと思います。6月12日にはAberdeenのJapan Dayで、精力的に活動を開始された新任の松永日本総領事とご一緒する機会もありました。また、Japan Society of Scotlandの新会長Trevor Runcie氏とより緊密な連携を模索しています。

EU離脱を決定した歴史的な国民投票により、英国スコットランドは世界を大きく変えていこうとしています。目が離せません。今年からスタートする「Scotland DAY in Tokyo 2016」では、そんな躍動するスコットランドをご紹介していこうと思っています。

古川俊治氏JSAの顧問に就任



参議院議員、古川俊治先生が理事会の承認を経て9月にJSAの顧問に就任されました。JSA創立当初から、協会を温かく見守り、折々にアドバイスをいただいていたのですが、今回正式に顧問をお引き受けいただくこととなりました。慶応大学医学部で外科医を務められるとともに司法試験に合格され、弁護士としても活躍、その後オックスフォード大学でMBAを取得され、2007年より参議院議員を務められるなど、多方面で活躍されています。現在、慶応大学法科大学院教授、医学部外科教授もされています。お一人で外科医、法律家、大学教授、MBA取得という稀なご経歴の議員である先生に顧問になっていただき、心強い限りです。個人的には、ほぼ10年に渡る家族の友人として存じ上げ、そのお人柄には感銘を受けています。

(関 妙子記：名誉顧問)

スコットランドに赴任して

在エディンバラ総領事 松永 大介氏



5月10日に当地に着任して4ヶ月が経ちました。到着した当時は、庭に石楠花の花が咲き乱れており、街路に沿って八重桜も咲いておりました。まだ夏至前でしたので、日はまだ長くなりつつあり、夜の11時ぐらいでもまだ明るかったように記憶しております。緯度が高い地域の特徴として薄明(夕暮れの薄明かり)の時間が長いことがあげられますが、それがまた独特の風情を醸し出していました。

仕事の面では、赴任後1ヶ月余りを経た6月23日に英国のEU離脱をめぐる国民投票があり、その結果は英国全体で離脱が52%、残留が48%であったのに対し、スコットランドではEU残留が62%、EU離脱が38%となりました。英国全体とは逆の結果がスコットランドで出たこととなります。私も徹夜で開票をフォローしました。英国のEU離脱が今後どのような形で進んでいくのか、スコットランドがこれにどう対応していくのか、予断を許さない状況が続いています。

そうこうしているうちに、エディンバラには文化フェスティバルの季節がやってきました。シンフォニー、オペラ、バレエといった本格的な芸術公演に加えて、FRINGEと呼ばれる演劇・舞踊・音楽・話芸から曲芸に至るまでの幅広い分野にわたる公演が行われます。日本からも和太鼓や和楽器演奏そして英語落語などの専門家が来訪され、私もその一端をのぞかせて頂きました。

スコットランドの人々は、「スコットランドの気候をどう思うか?」と良く訊いてきます。これは雨が多く変わりやすい天候を自嘲的にとらえているからだと思ひます。私は、相手の期待をちょっとはずして「スコットランドの気候は大好きです」と答えます。というのも、柔らかかなにわか雨と陽光がかわるがわる訪れる天気は草花の生育に最適だからです。私も人参、ピーズ(砂糖大根)、赤蕪などを植えているので、にわか雨が降るたび、しめしめと思ひています。早朝には見られなかった花がお昼に咲いているといった手品のような現象もたびたび目にしました。

執筆現在(9月中旬)、日は段々短くなっております。夏至の頃の日の長さを思い出すと、逆に夜が長くなったら如何ばかりかと案じられますが、スコットランドの人達には、こうした季節を明るく乗り越えるための行事や智慧が沢山あるに違いないと信じ、それを味わえることを楽しみにしているところです。(2016年9月18日記)

新駐日英国公使にScotland出身のDr. David Ellis氏就任

8月4日、駐日英国大使館で新旧英国公使の歓送迎会が華やかに開催されました。2度目の日本勤務として2012年8月から駐日英国大使館公使で着任し、JSAの活動が効率的かつ円滑に行われるよう常に笑顔でサポートして下さった Julia Longbottom 氏が、この8月に4年の任期を終え帰国、新しくScotland出身のDr. David Ellisが公使に就任しました。

実は、Dr. Ellisは関名誉顧問の古くからの知人であり、この時会場で突然の嬉しい再会を果たし、即時にJSA会員として入会することを約束頂きました。これからのJSAとScotland、また、駐日英国大使館との更なる良い関係を築くため、この素晴らしい偶然に大いなる期待を感じます。(齊藤七生)



Julia Longbottom氏



関 妙子 名誉顧問 片桐 宏典 会長
齊藤 七生 副会長 Dr. David Ellis 公使 Kate Thomson 理事

新役員挨拶

小林 正典 (副会長)

JSAには、スコットランドを巡って多彩なキャリアの人たちが出会う場としての面白さがあります。私なりに、自動車産業での経験や、執筆体験等を活かして、JSAのお役に立てることがあれば幸いです。

齊藤 七生 (副会長)

セントアンドリュース大学でスコットランド史を研究し修士号を取得、その間、心温かい地元の方々にも支えられて過ごしました。この経験を活かし、日本とスコットランドを繋ぐことで会員の皆様のお役に立てましたら幸いです。

Ray Bremner, OBE (理事)

Born in Wick in Scotland. Graduated from Oxford University with an MA (Hons) in Classics. Joined Unilever in 1979 and was appointed President and CEO of Unilever Japan in 2009. Following the Great Eastern Japan Earthquake he was appointed OBE in recognition of Unilever's commitment and undertaking to support the Tohoku community. He retired in 2014 and now divides his time between Scotland and Japan.

上門 周二 (理事)

この度で縁がありJSA理事を仰せつかることになりました。ランドスケープアーキテクトとして長年培ってきた、都市のデザインや日本庭園の設計経験を活かし、本協会の国際交流活動に貢献できればと考えております。

畠中 康仁 (理事)

セントアンドリュース大学院で昨年留学しておりました。在学中のスコットランドと日本をつなげる活動を行っていた縁で、この度理事として活動させて頂くことになりました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

飯村 英人 (理事)

2004年に語学留学、07年にスターリング大学修士課程留学と約2年をスコットランドで過ごしました。今の生活の礎を築いてくれたスコットランドに少しでも恩返しができるようJSAの活動を盛り立てていければと思います。

石川 晃士 (監事)

皆さま初めまして。新しく監事に就任しました石川晃士です。JSAの活動を通じて様々な分野で活動されている皆さまとの交流を楽しみにしています。監事としてJSAをサポートしていきますので宜しくお願い致します。

日本対スコットランド・ラグビー国際親善試合を観戦して

6月25日、日本対スコットランドのラグビー国際親善試合が味の素スタジアムで行われました。テストマッチでは初の天覧試合となった代表戦は惜しくも日本の敗戦となりましたが、日本側が唯一のトライを決めたりと接戦を繰り広げました。スコットランド代表がゴールを決めるとバグパイプの音が響いたり、スコットランド側は応援でも負けていませんでした。3万4千人の観客は、日本代表に反則が取られるとため息が響くことも多かったですが、優れたプレーに対しては両国共に拍手が送られる紳士的な観戦マナーを守っていました。当協会の関名誉顧問は、スコットランドラグビー協会会長のマーク・ドーンソン氏、駐日英国大使ティモシー・ヒッチنز氏、スコットランド開発庁代表スティーブ・ベイカー氏と共に観戦しました。他にも理事、監事を始め多くの会員が観戦していたようです (荒井健太郎)



JSA関名譽顧問、4人目ラグビー協会ドーンソン会長、5人目(中央)ヒッチنز英国大使、右端ベーカーSDI代表

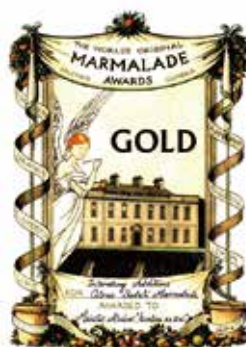
JSA会員／世界オリジナルマーマレード賞で金賞受賞

JSA会員で『マイスター工房 宝梅の会』原啓氏 (兵庫県宝塚市) が英国で開催されたThe World's Original Marmalade Awards2016 (世界オリジナルマーマレード賞) にて職人部門の柑橘マーマレードとマーマレードの中に他の食材を添加したもの各部門でそれぞれ金賞を受賞されました。この大会は今年で11回目を迎え、世界中からマーマレードが出品される世界的な催しです。毎年3000名を超える人々が出品しています。評価はAppearance (外観)、Aroma (香り) Texture (果肉と果皮と色合いなどと舌触り)、Taste (味覚) の4項目の総合評価です。金賞は総合得点20点満点の内、18~20得点とされています。原氏の採点表には「Gorgeous fruit fresh taste. A really delicious marmalade.」と記されているほどの高評価を得ていらっしゃいます。マーマレード発祥の地はスコットランドのダンディーと言われています。

マーマレード豆知識

Q.ジャムとマーマレードの違いは何?

A.柑橘で果皮があるものがマーマレードで柑橘でも果皮がないものがジャム



JSA

東京

パブミーティング 7月30日

2016年7月30日(土) Brewdog Roppongiで第2回パブミーティングを開催しました。昨今のクラフトビール人気もあり、多くの若者や外国人の方が集まるスコティッシュパブで、関前会長、齊藤副会長はじめ、13名の方に参加頂きました。当初予定していた、JSA会員でセントアンドリュース大学神学部博士課程を修了された山口さんをご都合で参加できませんでしたが、スコットランドの大学を最近卒業した方や現在通っている大学生にも多数参加頂きました。ウイスキー、大学、地元の話など「今」のスコットランド情報を知り得る機会にもなり、貴重な時間を過ごして頂いたか



と思います。次回も皆様の参加を心よりお待ちしております。(畠中 康仁)

英会話 9月10日

日時：2016.9.10 17:00～18:30 場所：JSA東京本部 新宿区下落合
8月の夏休み終わって久しぶりのDiscussion in English 最初の質問はまさに "What did you get up to in August?" でした。今年の夏の思い出を語り合い本題へ……。

今回のテーマは "Teach"

- ① Which teacher has been your favorite? Why?
- ② Which teacher has been your least favorite? Why?
- ③ Which 3 qualities should a teacher have? Why?

学生時代の思い出と共に当時の「先生」について話し合い、「先生」に必要な要素を上げていきました。また、最後に日本の独特な習慣である「塾」についても話し合いました。塾の良い点とそうでない点をピックアップすると、日本人が休みなく「よく働く」という風習は学生時代塾に通って「毎日勉強する」というところから繋がってくるのかもしれないという意見が上がりました。惜しみなく全てを勉強に費やし望む大学に入るか、休む時はしっかり休み感性を豊かにするのか、

JSA

中部

Whisky Tasting 6月16日

On June 16 of this year the Chubu branch of the JSA held a whisky tasting at the Hilton Nagoya Hotel. The tasting followed the footsteps of Taketsuru Masataka and we sampled whiskies from Glasgow, Speyside, Campbeltown and Islay. Hilton general manager and whisky expert, Felix Busch took charge of the proceedings and the Hilton chef prepared some delicious canapés to accompany the whiskies. He walked around the room and informed tasters of



浅井 秀樹氏



Scotch Whisky

reasons behind his choices. Among other foods, we had smoked duck, black pudding and fig pie, salmon and scallops marinated in whisky and honey. My wife, Mayumi, and I prepared a Power Point Presentation to inform guests about the history of the whisky industry in Scotland and Japanese piper, Hideki Asai, played the pipes both outside and inside the hotel, much to the delight of other guests. Everyone had a great time and look forward to the next tasting. (Gerry McLellan)

会員紹介 大橋 彰彦氏

「夢を見ることができれば、夢を実現させる可能性はある」



これはディズニーの言葉ですが、夢を実現できる以前に「もし、こんなことができたなら…」と想像することが「大切な1歩」であると言っています。僕はウクレレ・プレイヤーですが、きっかけは「バイオリンやピアノでも難しい曲をウクレレ1本で演奏したら、びっくりするかも…」と考えたことが「始めの1歩」でした。ところが、下積み生活20年…。その長い潜伏期間を経て、僕がTVなどで紹介されて知られるようになり、南青山に音楽事務所「表参道レーベル」を設立。クロサワ楽器から僕のウクレレが販売され、音楽活動だけでなく、マイク真木さんとラジオのDJに抜擢されるまでになりました。今年サントリーホールやウクレレの聖地ハワイで演奏し、コンサートを無事成功させることができました。「夢」は大きいほど、乗り越える障壁も高くなりますが、夢を実現させた時の感動はその壁の高さに比例して大きいものだと今をとても実感しています。

編集部より/大橋氏は「Scotland Day in Tokyo 2016」にご出演頂きます。ウクレレで演奏するスコットランドの曲をご期待ください。



Darren Craig 先生(中央)を囲んで

或いはその両方を両立するか……文化のみならず価値観の違いによっても様々な意見があり、良い教育とはどのようなものか改めて考えさせられるとても興味深いテーマでした。(M.Sato)



参加メンバー (右から2番目 Gerry McLellan支部長)

JSA 関西

英会話教室 5月14日

モード・ラムゼイさんを講師に、宝塚のカフェや芦屋のバーで飲み物片手に、英会話と共に文化や習慣の違いなども学ぶ。



モード先生(左から2番目)を囲んで

ウィスキー講演 3月19日

養輪陽一郎さん(ニッカウヰスキー・ウヰスキーアンバサダー)によるスコットランドの歴史を交えたウヰスキーの解説と竹鶴政孝の人物伝やジャパニーズ・ウヰスキー黎明期についての講演会。



講演の様子

料理教室 4月10日

モード・ラムゼイさんのアドバイスを適宜受けながら、英語レシピを見つつ自分たちで作るというスタイル。4月はBraised Lamb、7月は Poached Salmonが主菜でそれぞれ前菜とデザートも含めて料理を楽しんでいる。



Poached Salmon



Braised Lamb

関西ハイランドゲームズ参加 3月27日

神戸・三宮で開催された関西ハイランドゲームズに会員10名で参加、バグパイプやハイランドダンスをはじめとしてスコットランドのお祭りを楽しんだ。なお、JSAのブースを開設し、JSAの広報や即売会で雰囲気盛り上げた。



ハイランドゲームズの様子



バグパイプ演奏

スコットランドナイト(後援) 5月22日

からすま京都ホテルでスコットランドビールやスコッチウヰスキーと共に食事をしながら、レズリー・デニストンさんのバーズ朗読やラムゼイパイプバンドのバグパイプ演奏を楽しんだ。



スコットランドナイト参加者(左が香川支部長)



ラムゼイパイプバンドの演奏

イベント紹介

6月4日の午後、関西大学・黒田教授に世話人をしていただき、エッセイストで関西大学・非常勤講師の武部好伸先生の講演会「ケルトから見たスコットランド」を開催した。会員の山形さんのバグパイプ演奏に先導されて、武部先生が入場。武部さんの軽妙なタッチの話術は、スコットランドの歴史からバブの話まで幅広く広がり、特にヨーロッパに点在するケルトの文化遺跡に関しては、1988年以降長年にわたり隈なく直接現地を訪問され、その時に撮影された多くの写真と共に熱っぽく語られ、聴衆を魅了した。なお、講演会に先立ち、関西支部会員対象に5月20日の総会の報告を行った。



講演会の様子

会員紹介 小林 立也氏



JSA関西支部ウヰスキー担当(?)の小林立也と申します。

スコッチウヰスキーの奥深さに魅せられ色々な蒸留所のウヰスキーを飲んでいるうちに、ウヰスキーだけでなくスコットランド自体にハマってしまいました。関西支部で定期的で開催されるJSAウヰスキー倶楽部では、様々な切り口からウヰスキーの楽しみ方を提案し、ウヰスキーを通じてスコットランドの魅力を伝えていける場を目指しています。皆様のご参加をお待ちしています!

(小林立也)

関西支部の今後の活動予定

10月16日(日) スコットランド料理教室・秋の料理

10月29日(土) 第3回JSAウヰスキー倶楽部
「樽による風味の違いを楽しもう!」

11月12日(土)
第4回JSAウヰスキー倶楽部
「サントリー知多蒸溜所を見学しよう!」

12月4日(日) スコットランド料理教室・冬の料理

12月17日(土) 忘年茶話会

2017年1月14日(土) 英会話教室

4月2日(日) 関西ハイランドゲームズ
(以下は計画中、日程未定)

アフタヌーンティーの集い 砂古玉緒さん(英国菓子研究家)講演会



JSA 東北

2016年8月、青森公立大学から2名の学生（須藤さやかさん、對馬裕さん）がスターリング大学のサマープログラムに参加しました。1か月間英語を学ぶとともに、週末はエディンバラやグラスゴー、ネス湖などを訪れ、スコットランドの歴史や美しい街並みに触れることができました。また、親切で社交的な国民性に大変感動したとのことでした。2人にとっては忘れられない素晴らしい経験となったようです。



JSA 九州

「JSA九州支部の活動として、7月1日に宮崎公立大学で8月のスターリング大学に夏季留学する学生達3人に留学担当中山教授に出席頂き、現地での日常生活についての説明をしました。



学生さんと前原支部長(左)

その中で、英国全体で通用する紙幣は8種類（イングランド1種類・スコットランド3種類・北アイルランド4種類）他に地方独自のマン島紙幣兌換紙幣はイングランド紙幣のみと説明しますと皆興味深く説明を聞いていました。」（前原正人）。

スコットランドから来訪された方

Dr. Anne Mullen氏（セントアンドリュース大学副学長）
Julie Ramsay氏（Director of Admission）

2016年3月17日、University of St. Andrewsの副学長 Dr. Anne Mullen と入試担当 Director Julie Ramsay の来日に伴い、東京新宿の京王プラザホテルで同窓会が開催されました。副学長からは、英国王室ウィリアム王子ご夫妻が卒業された同大学は、1413年創立のスコットランド最古の歴史ある大学ですが、ヨーロッパ、アメリカの留学生に比べ、アジア出身者の比率は低いため St. Andrews 大学の知名度を更に高め、日本の多くの優秀な学生を受け入れたいとのスピーチがありました。



Dr. Anne Mullen 副学長(右から2番目)と Julie Ramsay 氏(右)

出席者は、日本で活躍している各国、各世代の卒業生だけではなく、現在留学中の父兄の方々も参加され、副学長を交えて、楽しかった大学生活の思い出に話が深まりました。

Kerry Bryson氏（スターリング大学開発・渉外局長）

2016年5月15日～22日：Kerry Bryson氏（スターリング大学開発・渉外局長）が来日。KerryさんはJSA創立当初からの海外在住会員としてJSAの活動にスコットランドからエールを送って下さっています。滞日中に、5月20日の総会にも出席いただきました。



片桐会長の彫刻を囲んで
児玉氏、Kerry氏、関名誉顧問

今回来日中は、東京はもとより、長崎、京都と日本の各大学を訪れ提携強化等、精力的に動かれました。唯一のFree time、最終日土曜日には、東京にある片桐さん、ケイトさんの彫刻を訪ねるツアーを行いました。すべてを訪ねるには1週間にかかるほど多くの作品が東京都内にありますが、オルガニストの児玉麻里さんも一緒に一日中かけて何とか数か所を訪ねました。慌ただしい1週間の滞在でしたが、来年も総会出席のために来日を約束され帰国されました。

JSA後援事業／児玉麻里氏主催 パイプオルガンによるスコットランドとの交流

NPO日本スコットランド交流協会後援、当協会会員の児玉麻里氏主催の第26回インターナショナル・オルガン・フェスティバルが、スコットランドの世界的オルガン奏者の Simon Nieminski 氏（エディンバラ聖マリア大聖堂 主任オルガニスト）をお迎えして6月15日横浜、17日東京、21日仙台各地を巡回、開催されました。ニミンスキー氏により、伝統的なカテドラル音楽だけでなく、日本人には馴染み深いスコットランド民謡も数多く演奏され、訪れた

観客の心を癒したコンサートはどの会場でも大盛況でした。

なお、この後、児玉氏は二人の邦楽演奏者と共に、10月11日を皮切りにスコットランドのセント・アンドリュース、グラスゴー、エディンバラと巡回し、日本の邦楽器とオルガンとの共演により、今度は日本の楽曲紹介を中心にスコットランド各地で開催されます。



Simon Nieminski氏

アバディーンでケイト・トムソン、片桐宏典 二人展開催



Japan Society in ScotlandのTrevor Runchie新会長と

9月23日からアバディーンのパンコリー、ミルトンギャラリーにて「詩的抽象／ケイト・トムソン、片桐宏典二人展」が10月23日まで開催されています。9月23日のオープニング・レセプションにはエディンバラ日本総領事館から村田文化担当官をはじめ、Alexander Burnett MSP スコットランド議会議員やJapan Society in Scotlandの新会長 Trevor Runchie氏などが集まりました。

特に、Runchie会長とは今後、JSA奨学生とのスコットランドでの交流、Japan Society in ScotlandのThomas Graver奨学生とJSAの交流、スターリングでのJapan Weekや今年から開催されるScotland DAY in Tokyo 2016を通じて更なる両国の交流促進とお互いのサポートを確認し合いました。

JSA 奨学生の紹介 鈴木 瑞穂氏 (スターリング大学大学院 Media Management コース)

JSAではスコットランドの大学院への留学生を対象に奨学金制度を設けています。今回は2016年度の奨学生・鈴木瑞穂さんをご紹介します。

こんにちは。今年の9月よりスターリング大学大学院のMedia Managementコースで学んでいます。鈴木瑞穂と申します。この度は、日本スコットランド交流協会の2016年度奨学生に選出していただき、本当にありがとうございます。コースが始まってからまだ間もないですが、膨大な量のリーディングや課題に悪戦苦闘しつつ、自然の美しいキャンパスで国際色豊かなクラスメイトやルームメイトに囲まれて、刺激的で充実した毎日をご過ごしております。

留学期間は約1年なので、語学力や専門知識の習得に努めるのはもちろんのこと、この素晴らしい環境や機会に身を置いていること最大限に楽しみたいと思っております。



鈴木氏(左)

Winter Gardens ~Edinburgh Now~ 片桐 宏典



Winter Gardens, Aberdeen

George Adam アバディーン市長の招待で、市内ダシーパーク (Duthie Park) にあるDavid Welch Winter Gardensを初めて訪れた。以前からその評判は聞いていたが、世界でも屈指の素晴らしい植物園で、6月のまだ肌寒い日だったが、広大なビクトリア調のガラス張り温室に一歩足を踏み入れるとそこは百花繚乱、世界各地から集められた植物が見事に咲き誇っている姿に感動した。

スコットランドの中でも石油で特に裕福な工業都市アバディーンで、芸術大学出身のAdam市長は、産業とともに文化芸術振興に力を入れており、今回も市内で活躍する文化関係者を一堂に集め、互いの交流とその労をねぎらう集まりに300人以上が集まった。

この公園の冠名であるDavid Welch氏は、ロンドンの中心ハイドパークやリッチモンドパークなどをはじめ、英国王立公園協会会長を務めた人だが、彼はもともとアバディーン市の公園監督で、

人々が楽しめるように公園の大改革を行った人である。Grey cityだったアバディーンを30年かけ200万本のバラで飾り、Rose cityと呼ばれるまでにした。ここは人々の誇りであり、心の拠り所となっている。

ここ数年アバディーンは石油価格の低迷で大不況に喘いでいる。大幅な雇用削減や倒産があちこちで続いている。しかしこういう冬の時期だからこそ、Winter Gardensの花は訪れるわれわれに人生に向かう勇気と優しさを奮い立たせてくれる。

Scotland then and now

Kate Thomson

Scots engineers were instrumental in creating modern Japan at the beginning of the Meiji Revolution, yet the Japanese image of Scotland is often focused on the past.

JSA is interested in celebrating our shared history and the close affinity between Japan and Scotland. We would also like to update perceptions of current culture, art, education, business and science in order to look to the future and develop mutual potential.

Looking for images to introduce JSA's "Scotland Day" at the Tokyo Metropolitan Theatre in Ikebukuro on 26th November this year the iconic Kelpies sculpture was suggested. They are perfect to express contemporary innovation and aspiration within the context of Scotland's artistic, cultural, social and engineering history. So I called the sculptor Andy Scott to ask for permission to use images of his now internationally famous work. I had not spoken to Andy since we met while Katagiri and I were setting up the Glasgow Sculpture Studios with 5 other sculptor friends in 1988 to provide space and facilities for young artists who did not yet have their own studios. It was lovely to hear the voice I knew 28 years ago. Andy told me that the Glasgow Sculpture Studios is still going strong and his own workshop is actually in the building GSS was based in for several years before they moved to larger premises.

We talked about the incredible engineering and logistical challenges of making the 30-metre-high Kelpies, using cutting edge technology to scale up hand crafted sculpture. A towering tribute to Scotland's industrial heritage standing next to the Forth and Clyde Canal, alongside the Falkirk Wheel, one of Scotland's most elegant modern engineering projects, making Falkirk a key gateway to Scotland now.

I will show more images of the Kelpies and other new public sculptures in my PechaKucha talk during "Scotland Day".



The Kelpies by Andy Scott, photo by Graham Wylie Photography

夏期語学研修体験 入部 秀

2016年8月、スターリング大学のサマースクールに参加し1か月スコットランドに滞在しました。周りの皆さんは皆大学生で、社会人は私ひとり。多少の気後れもありましたが、スコットランドで学びたいと言う夢を叶えたい一心で思い切って参加しました。スターリング大学は自然に囲まれたとても美しいキャンパスです。滞在中は毎日授業に出て、街にも出かけ、夜はPubに通って地元の方達に話し掛けては言葉や発音を教えて貰いました。週末にはプログラムに含まれるエジンバラやグラスゴー、ネス湖には1泊のアクティビティも楽しみました。日本の仕事もネットを介して出来る範囲で毎日継続しました。夢中で毎日を過ごし幸せな滞りも束の間、あっという間に1か月が過ぎました。帰りたくない気持ちでいっぱいでしたが再度の渡航を決意し帰国しました。何歳になっても何かを始めることは出来るということ。留学という10代や20代で皆さんが経験していることを、私は40を過ぎてようやく(短期ですが)経験する事が出来、心から嬉しく思っています。私の人生の中で、これほどまでに充実した1か月を過ごした事はありません。今後の人生の糧に、また心の支えとなったのではないかと思います。本当に素晴らしい体験でした。最後になりましたが留学に際し何から何までお世話頂きました関先生に感謝申し上げます。ありがとうございました。



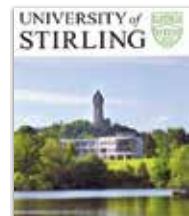
Pubで仲良くなった地元の皆さんと



美しい大学キャンパス

お知らせ ★「スターリング大学春期英語研修(7週間:2017年2月6日~3月24日)参加者募集★

7週間の英語コースで本格的に英語の習得を目指したい方ご参加ください。3、4、5、6週間の参加も可能です。18歳以上であれば英語能力や年齢の制限はありません。クラブ活動に参加するなど現地の学生との交流が図れます。経費:学費、寮費、週末旅行(エディンバラ、グラスゴー、セント・アンドリュース、ネス湖一泊)すべて含んで約4500ポンド※左記金額は7週間参加の場合。参加期間によって料金は変動します。Flight代と生活費(自炊で1週間5000円程度)は別途支払いが必要です。上記にご興味のある方はお気軽にJSA事務局までご連絡ください。会員のご家族、ご友人の方の参加も歓迎です。締切:11月30日 【お問い合わせ】東京本部 TEL/FAX 03-5988-8485 E-mail: info@jpn-scot.com



JSAウェブサイトのリニューアルとJSA会員専用サイト開設

この度、JSAでは会員の皆様の利便性の向上を図るため、JSAウェブサイトのリニューアル及びJSA会員専用サイトの開設を行いました。リニューアルしたホーム



ホームページ

ページから「会員専用サイト」にログインして頂くことで、各種お手続き(会員情報の変更、会費お支払い手続き、イベントへの参加申し込み等)を行うことが出来ます。会員の皆さまには、JSA会員専用サイトのご利用に際に必要なログインIDとパスワードをご送付しています。是非、ご自身で一度ログインして頂き、会員情報等ご確認ください。

東京本部イベントのお知らせ

11月26日(土) Scotland DAY in Tokyo 2016:
東京池袋芸術劇場2階開催 13時~20時30分
12月10日(土) スコティッシュキッチン:
東京本部12時~15時 特別クリスマスメニュー
◎英会話教室 Discussion in English
毎月第2土曜日 17時~18時半
新宿区 関名誉会長宅
◎一般英会話
毎月第3土曜日 15時~16時半 山口前副会長宅
お申込み・お問合せ info@jpn-scot.com

編集後記

片桐新会長のもとJSAは新たなステージへと歩みを進めようとしています。その第一歩が「Scotland DAY in Tokyo 2016」です。スコットランドの文化、芸術、教育、科学、スポーツ、音楽、食文化とスコットランドを丸ごと知っていただける一日です。皆様と一緒に楽しめることを心待ちにしています。会場でお会いしましょう!最後に関前会長の日本とスコットランドでの計り知れぬご尽力に会員の一人として心より敬意を表し、感謝申し上げます。ありがとうございました。(飯村英人)



NPO法人

日本スコットランド交流協会

The Japan Scotland Association



東京本部 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-28-1401 Tel & Fax: 03-5988-8785 E-mail: info@jpn-scot.com

Tokyo Headquarters: 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033, JAPAN Tel & Fax: +81 (3) 5988-8785

東北支部 〒030-0196 青森県青森市合子沢山崎153-4 青森公立大学 香取真理研究室内

Tohoku Branch: % Prof. Mari Katori's office, Aomori Public University, 153-4 Yamazaki, Goshizawa, Aomori-shi, Aomori 030-0196, JAPAN

中部支部 〒465-0021 愛知県名古屋市名東区猪子石2-709 Chubu Branch: 2-709 Inokoishi, Meito-ku, Nagoya-shi, Aichi 465-0021, JAPAN

関西支部 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町2丁目5-3-906 Kansai Branch: 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082, JAPAN

九州支部 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島2-23-2 Kyushu Branch: 2-23-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032, JAPAN

0161018-2000-ND